

患者ID:@PATIENTID

2009.7.10作成

@PATIENTNAME 様

前立腺化療(ドセタキセル・デカドロン)

2012.2.6改定

指示者	@USERNAME
コース数	

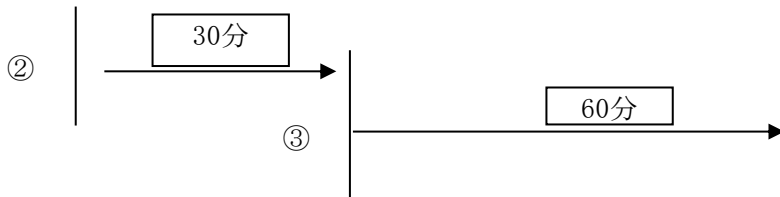
身長	HEIGHT01_Dc	cm
体重	HEIGHT01_D	kg
体表面積	#VALUE!	m2

(DuBoisの式)

実施印

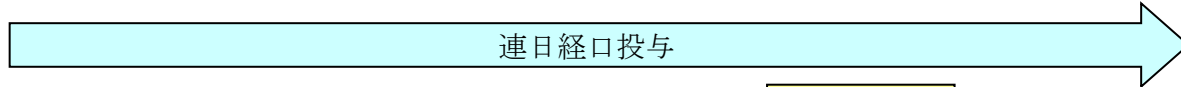
	薬物/実際の投与量	投与時間	投与経路	
①	デカドロン(0.5) 2T	朝食後	内服	連日内服
②	グラニセトロン3mg 1バッグ	30分	点滴	
③	5%糖液250mL ドセタキセル 70mg/m2 ()mg/body 最小単位5mg #VALUE! 計算値	60分	点滴	

投与手順

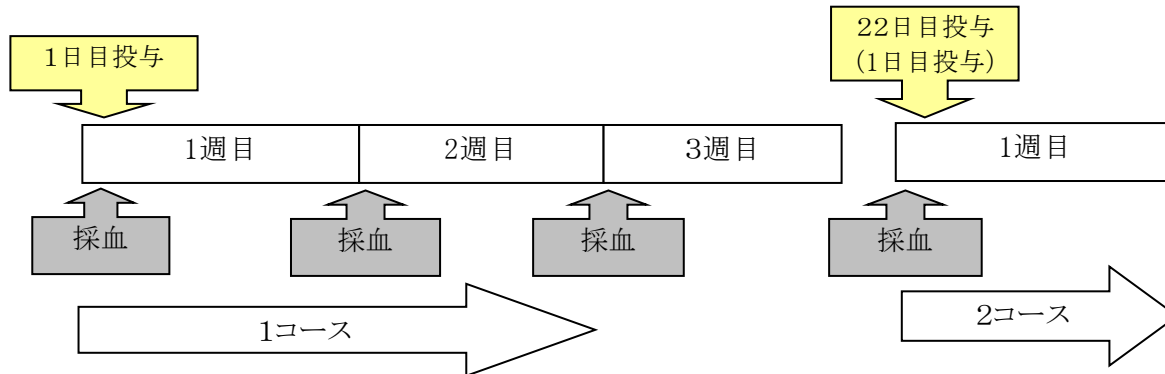


スケジュール

3週1回投与する
内服



注射



注意

アルコールが入っているため、車の運転は控える。
 アルコール過敏症の患者さんには5%糖液で溶解し、調製。
 1回目から骨髄抑制が出現する症例が見られるため、期間の延長が必要な場合がある。
 DEHPフリーの点滴セットを使用する。

薬価
 BSA1.5の場合
 1クール 108,070円

副作用) 下記に記載

- ・ 1回目から骨髄抑制の発現。
- ・ 好中球減少のnadirは8-11日とやや早い。
- ・ 悪心嘔吐の出現は約3割。
- ・ 末梢神経障害、爪の脱落の報告もある。
- ・ グレード3/4の有害事象 n=43(100%)

好中球減少症	93.00%
白血球減少症	81.40%
発熱性好中球減少症	16.30%
リンパ球減少症	30.20%

・ステロイド長期投与における副作用: ムーンフェイス、脂肪の異常沈着、血糖値上昇、感染症の誘発等

(治療成績)・・・ドセタキセル70mg/m2投与時の治療成績1)

- ・ 投与サイクル中央値:7サイクル
 - ・ 無増悪期間:24.7週
 - ・ 腫瘍縮小効果 (RECIST)
- 全奏効 44.20%
- CR 0 (0%)
- PR 19 (44.2%)
- SD 14 (32.6%)
-
- ・ 腫瘍マーカー50%減少率 (PSA4::44.4%)

(投与延期または休薬の目安)

Neutro 2,000/mm3未満
WBC 4,000/mm3未満
PLT 100,000mm3未満
Hb 8.0g/dL未満
GOT・GPT・ALP 施設正常域上限の2.5倍以上
Total Bil 施設正常域上限以上

(減量について)

	初回投与量	1段階減量	2段階減量
TAX327試験	75mg/m2	60mg/m2	45mg/m2
国内第II臨床試験	70mg/m2	60mg/m2	50mg/m2

(参考文献)

- 1) Naito. S, et al. Docetaxel Plus Prednisolone for the Treatment of Metastatic Hormone-refractory Prostate Cancer : A Multicenter Phase II Trial in Japanese. Jpn J Clin Oncol 2008 ; published April 15